

TPC マーケティングリサーチ株式会社

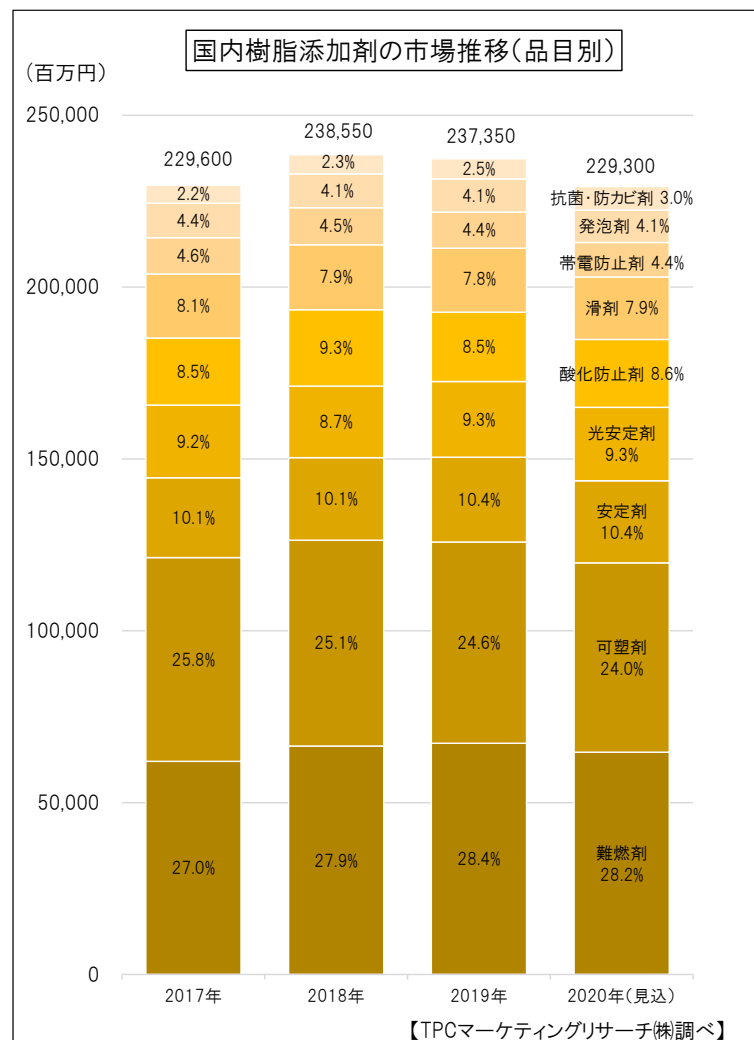
樹脂添加剤市場について調査結果を発表

この程、TPC マーケティングリサーチ株式会社（本社＝大阪市西区、代表取締役社長＝川原喜治）は、樹脂添加剤市場について調査を実施、その結果を発表した。

【調査結果】

2019 年度の樹脂添加剤の市場規模は前年度比 0.5%減の 2,373 億 5,000 万円となった。

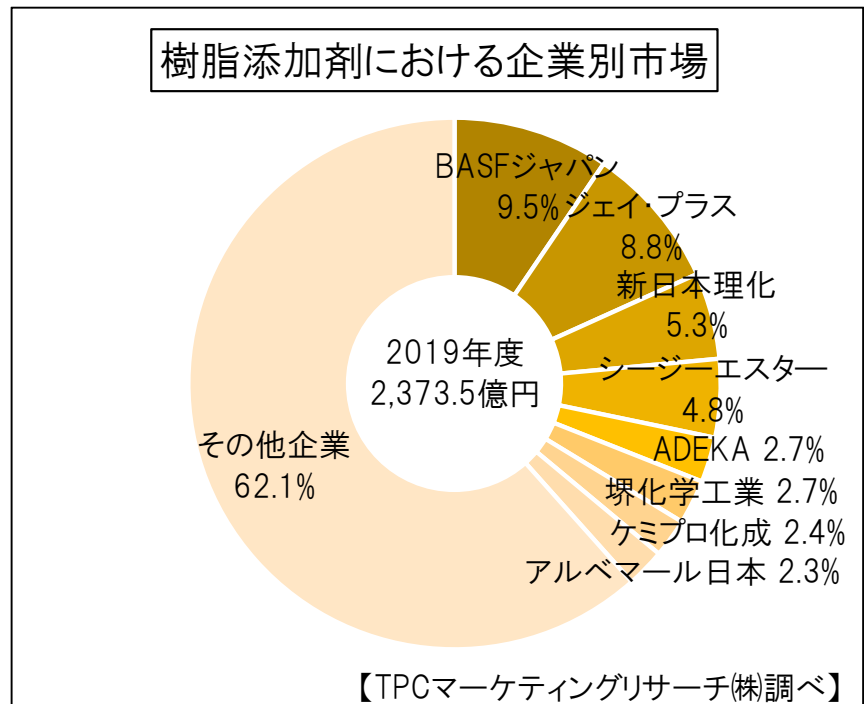
- ・ 2019 年度は、前年度比 0.5%減の 2,373.5 億円となった。
- ・ 近年は、自動車や建材向け樹脂製品がふるわず、樹脂添加剤の需要は減少傾向にある。加えて、2020 年は新型コロナウイルス感染症の影響により、産業業界全体が生産停止、生産縮小に追い込まれ、さらなる苦戦を強いられている。
- ・ 一方で抗菌・防カビ剤では、新型コロナウイルス感染症の影響で上昇傾向にある。さらに従来の機能に加えて、抗ウイルス性、耐熱性、耐変色性など、高機能・高付加価値化が加速し、需要は拡大傾向にある。
- ・ また、難燃剤では原料である「ヘキサブロモビフェニル（DBDE）」「短鎖塩素化パラフィン」の使用が規制され、代替品として低毒性製品に注目が集まっている。これを受けて ICL JAPAN やランクセスなどが低毒性製品の展開を活発化させている。



企業別で見ると、BASF ジャパンで構成比 9.5%の 225 億円でトップとなった。

同社では、光安定剤において国内トップメーカーとなっている。

- ・ 樹脂添加剤の品目別主要参入企業は 90 社となっている。
- ・ 2019 年度の国内樹脂添加剤市場（調査対象 9 品目合計）における企業別売上高は、BASF ジャパンが 225 億円のトップとなった。同社は、光安定剤は紫外線吸収剤と HALS で国内トップメーカーとなっている。この他、酸化防止剤では 2018 年 4 月よりウォーターケム社と協業し、国内生産を開始している。



- ・ 次いで、可塑剤メーカーのジェイ・プラスが同 8.8%の 208 億円となった。同社は、汎用のフタル酸系を軸にした製品展開を行っている。

【調査要覧】**＜調査対象品目＞**

可塑剤、発泡剤、難燃剤、安定剤、酸化防止剤、光安定剤、滑剤、帯電防止剤、抗菌・防カビ剤

＜調査対象企業＞

ジェイ・プラス、シージーエスター、新日本理化、田岡化学工業、永和化成工業、大塚化学、大八化学工業、ICL JAPAN、ランクセス、アルベマール日本、ADEKA、勝田化工堺化学工業、水澤化学工業、ソノウォンインターナショナルジャパン、BASF ジャパン、ケミプロ化成、三井化学、日本精化、MORESCO、花王、理研ビタミン、三洋化成工業、シナネンホールディングス、富士ケミカル、東亜合成

＜調査期間＞

2020 年 5 月～10 月

＜資料名＞

「2020 年 樹脂添加剤の市場動向分析調査」

—今後、高機能・高付加価値及び低毒性製品が市場の鍵を握る—

<http://www.tpc-osaka.com/fs/bibliotheque/mr410200529>

発刊日：2020 年 10 月 23 日 頒価：99,000 円（税抜）

【会社概要】

会社名：TPC マーケティングリサーチ株式会社

所在地：大阪府大阪市西区新町 2-4-2 なにわ筋 SIA ビル

事業内容：マーケティングリサーチおよび調査レポートの出版

コーポレートサイト：<http://www.tpc-cop.co.jp/>

オンラインショップ「TPC ビブリオテック」：<http://www.tpc-osaka.com/>

ISO27001 認証書番号：IS598110

【本件に関するお問い合わせ】

電話番号：06-6538-5358